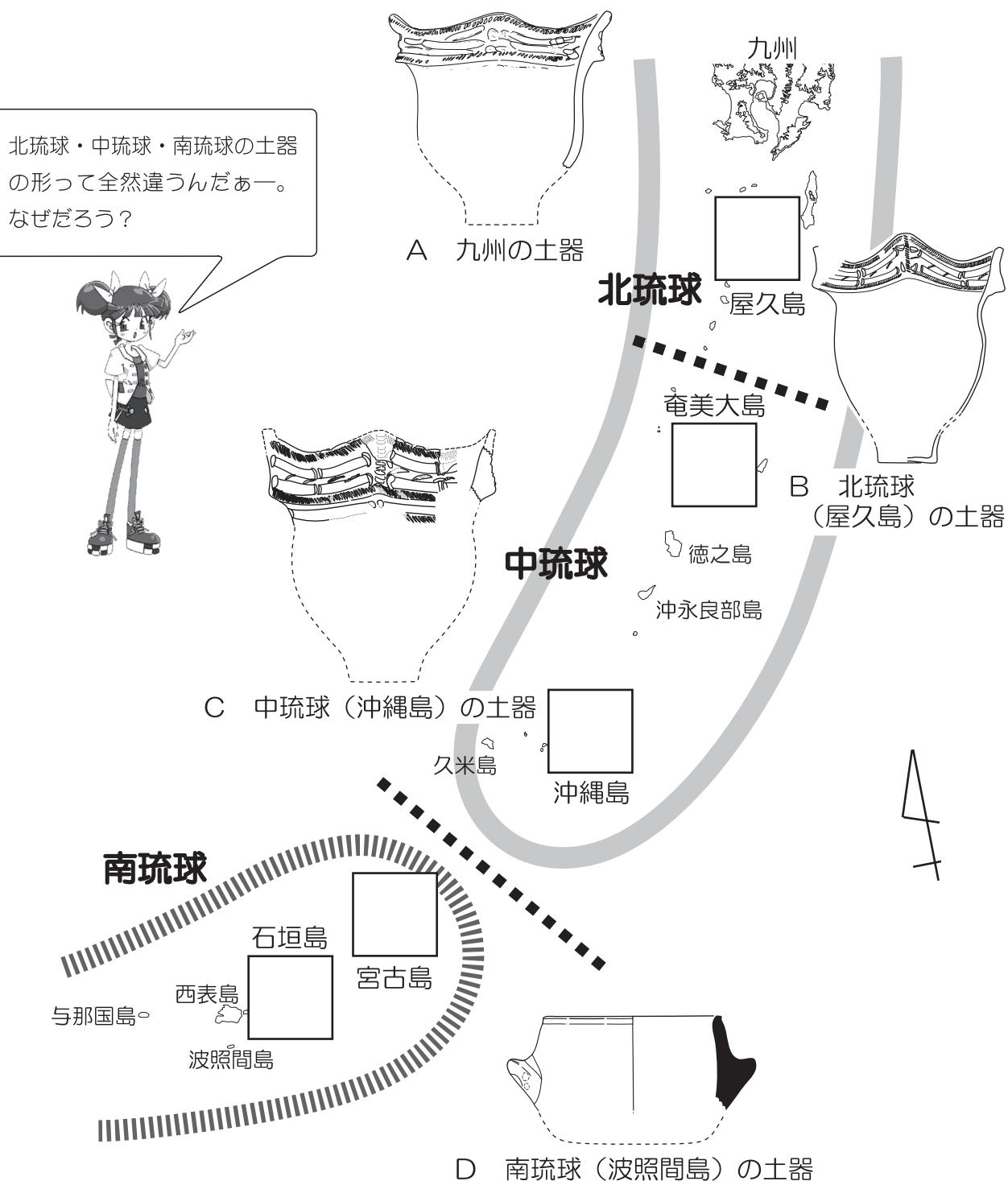


沖縄の島々と歴史

沖縄県が位置する琉球列島は、南北1 000 kmにもおよびます。数多くの島々からなる琉球列島は、地理的に北琉球（種子島、屋久島など）、中琉球（奄美諸島、沖縄諸島）、南琉球（宮古島、八重山諸島）の3つに区分され、それぞれ独自の自然、歴史、文化をもっています。



1. 左の図は琉球列島の地図です。地図の中の□には、①～⑤のかたちの島のどれかがあてはまります。□の中に番号を書き込んで地図を完成させましょう。



2. 次の①～③を距離きよりの長い順に並べましょう。

①九州と屋久島の間 ②屋久島と奄美大島の間 ③沖縄島と宮古島の間
長い 短い
() → () → ()

3. 地図の中のAはおよそ3000年前の九州でつくられていた縄文土器です。これとよく似た土器が、屋久島（Bの土器）や沖縄島（Cの土器）からも発見されています。一方、宮古・八重山では同じころ、まったく違う形の土器が使われていました（Dの土器）。

九州から屋久島、沖縄島までつたわった土器が、なぜ宮古・八重山には伝わらなかったのでしょうか。島と島との距離を参考にして、考えてみましょう。



4. A、C、Dの土器は考古部門展示室に展示されています。探してみましょう。

また、先史時代の沖縄諸島と宮古・八重山では、土器以外の道具にも違いがあります。下の道具はどちらで使われていたのか、考古部門展示室で調べてみましょう。

（ある：○、ない：×で答えてね）

道具の名前	沖縄諸島	宮古・八重山
パナリ焼		
貝輪		
貝斧		
蝶形骨器		
石斧		